

「第4回勤労生活に関する調査」(調査シリーズNo.6)のRead me

本アーカイブデータは、報告書掲載集計表の再現性について検証済です。注意が必要な箇所を以下に示しました。

1. 無回答の扱いについて

選択肢に「わからない」がある設問については、無回答は「わからない」に、また「不明」がある設問については、無回答は「不明」に含めています。

2. 秘匿処理について

以下の設問に対するデータのうち、年収「2,300万円以上」の自由記述部分(下線部分)のデータは公開していません。

(1) F9 個人の収入

F9 過去1年間のあなた個人の収入は税込でこの中のどれに近いでしょうか。臨時収入、副収入も含めてお答えください。(2,300万円以上の場合は、具体的な金額をお答えください)

(2) F10 配偶者の収入

F10 過去1年間のあなたの配偶者の収入は税込でこの中のどれに近いでしょうか。臨時収入、副収入も含めてお答えください。(2,300万円以上の場合は、具体的な金額をお答えください)

(3) F11 お宅の収入

F11 過去1年間のお宅(生計をともにしている家族)の収入は税込でこの中のどれに近いでしょうか。(2,300万円以上の場合は、具体的な金額をお答えください)

(F9~11の設問選択肢、全て共通)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. なし | 10. 800万円位(750~850万円未満) |
| 2. 70万円未満 | 11. 900万円位(850~1,000万円未満) |
| 3. 100万円位(70~150万円未満) | 12. 1,100万円位(1,000~1,200万円未満) |
| 4. 200万円位(150~250万円未満) | 13. 1,300万円位(1,200~1,400万円未満) |
| 5. 300万円位(250~350万円未満) | 14. 1,500万円位(1,400~1,600万円未満) |
| 6. 400万円位(350~450万円未満) | 15. 1,700万円位(1,600~1,850万円未満) |
| 7. 500万円位(450~550万円未満) | 16. 2,000万円位(1,850~2,300万円未満) |
| | 千百十 一 |
| 8. 600万円位(550~650万円未満) | 17. 2,300万円以上 → <u>□□□0万円</u> |
| 9. 700万円位(650~750万円未満) | 18. 不明 |

3. 報告書のクロス集計表(59~171頁)の表側に掲載されている合成変数、集約カテゴリについて

①<性・年齢>

調査票のQ1「性別」の回答と、Q2「年齢」の回答をもとに作成しています。

②<働き方>

世帯の「<働き方>」は、調査票のQ9の「職業の有無」の回答と、F5「結婚の有無」の回答、F5SQ1「配偶者の仕事の有無」の回答をもとに集計したものです。男女別世帯の「<働き方>」は、この世帯の「<働き方>」とQ1「性別」の回答をもとに集計したものです。これらの変数の組み合わせ方は以下のとおりです。

	性別	有職無職	配偶者	配偶者就業
	q1	q9	f 5	f5_sq1
共働き世帯(男性)	1 男	1 有職	1 有配偶者	1 仕事をしている
共働き世帯(女性)	2 女	1 有職	1 有配偶者	1 仕事をしている
専業主婦世帯(男性)	1 男	1 有職	1 有配偶者	2 仕事をしていない
専業主婦世帯(女性)	2 女	2 学生 or 3 無職	1 有配偶者	1 仕事をしている
無配偶・その他	上記以外すべての組み合わせ			

③無職（従業形態の区分）

調査票のQ9「職業の有無」で「学生」と回答のあったデータは「無職」に集計されています。

④<従業上の地位>

調査票のF1(1)「従業上の地位」で用いられているカテゴリ（詳細カテゴリ）と、報告書掲載集計表で用いられているカテゴリ（「雇用者」「自営」の集約カテゴリ）の関係は以下のとおりです。

	f1_1「従業上の地位」
雇用者	1 経営者、役員 2 正規従業員 3 非正規従業員 4 派遣社員
自営	5 自営業 6 家族従業員 7 自由業 8 内職